

水戸一高進路実績について

主な大学への合格者（2026年5月25日現在）

	2026	2025	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018
卒業生	242	236	281	315	318	317	318	321	314
北海道	8	11	12	12	7	9	13	9	8
東北	34	17	27	28	25	38	31	31	26
筑波	33	27	36	41	23	23	35	28	31
東京	8	7	11	15	14	23	8	8	6
東京科学	4	6	5	2	3	3	5	4	7
一橋	1	5	1	4	4	2	1	5	4
東京藝術	1	1	1	1	0	1	0	0	1
名古屋	3	1	1	4	0	4	2	2	2
京都	5	6	6	7	5	3	5	4	2
大阪	3	5	2	7	1	2	2	7	2
国公立医・医	22	19	17	23	9	21	19	9	12
早稲田	39	45	29	58	58	28	45	38	44
慶應	22	21	19	33	30	15	25	22	18

現役・既卒生を合わせた合格者数の一覧で、過去9年間で黄色が最多、青色が最小の数である。また、2025年から6クラス規模となったため、オレンジ色が2025年と比較して増えた個所である。

前年と比べて数が増えた個所が多いのは、現役生の合格率が全国平均に比べて高かったことが要因である。特に前期日程では東北大学 59.5%、筑波大学 42.9%、東京大学 43.8%であった。

【主な大学の分析】

- ・東北大学では合格者が17名から34名と2倍に増えた。このうち現役生は31名で、平成20年以降最多である。また、総合型選抜で6名が合格した。
- ・筑波大学は合格者33名のうち、医学科合格者数は7名で過去最多である。また、体育専門、芸術専門にも合格者を輩出しており、本校が重視している「多様性の尊重」が実を結ぶ結果となった。
- ・東京大学は前年より1名増えて8名が合格した。そのうち現役合格者数は3名から7名に増加し、文科類に4名と理科類に3名が合格した。
- ・医学コースプログラムが充実しており、国公立医学部医学科には、北は北海道の旭川医科大学から南は大分大学や琉球大学まで、全国各地の大学に22名が合格した。
- ・全国的に私立大学の人気が高まりつつあり、入学定員の厳格のため合格しにくくなっているが、最高峰の早稲田大、慶応義塾大にも例年と遜色ない合格者を輩出した。

生徒の現役志向に応えるように職員が連携して支援し、合格率を上げていくことが大切である。